

「35人以下学級の前進を求める決議」が 高石市議会で可決されました

「高石市立の小・中学校35人以下学級の実施を求める請願」が、昨年12月の高石市議会で、賛成9・反対6の賛成多数で採択されました。

同日、全ての議員の賛成で「35人以下学級の前進を求める決議」が可決されました。

これは市民のみなさんやわたしたち教職員の願いが、市議会で受けとめられたということであり、大きな意義をもつものです。

35人以下学級の前進を求める決議

社会状況等の変化により様々な課題を抱えた子どもたちが増加していく中で、一人ひとりに行き届いた教育を保障するため、全国の多くの地方自治体が独自に少人数学級を実施してきました。

大阪府の平成23年度少人数学級編制に係る研究(報告)によりますと、落ち着いた学校生活を送れるようになった結果として欠席者が減少し、子どもが学校で充実した生活を送っています。また、子どもに対して教員の目が行き届くようになり、きめ細やかな指導が算数や国語の基礎基本の定着率の向上につながっていると報告されています。

35人以下学級の拡充は、圧倒的多くの保護者、教職員の強い願いであります。

よって、大阪府並びに本市におきましては、以下の事項について速やかに取り組んで頂きますよう、強く要望致します。

記

1. 高石市立の小学校3年生から中学校3年生までの35人以下学級を計画的に前進させること

以上、決議する。

平成30年12月12日

高石市議会

日本語の読解力 危機的状況に

実際の指導例を提案したいと思います。まず、英語を教え込もうと思う前に、日本語の危機的状態を認識することが大事だと思います。教科書本文やテストの問題文が理解できない中3生の割合が25%ぐらいという衝撃的な報告が国立情報学研究所からだされています。

こんな問題です。

「Alexは男性にも女性にも使われる名前で、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexandraの愛称でもある。この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

Alexandraの愛称は()である。選択肢は、Alex、Alexander、男性、女性、です。

無理難題の小学校英語
でも、どうする⑩

これは三省堂のSunshineという教科書の3年生の本文の中にある文章で作った問題です。正解はもちろん1番です。ところが正解率が、中学生で38%です。高校生で65%です。本当に驚くべきことです。

スマホ時代というのは、本当に活字を読まなくさせている面もあるので、情報力は高いのですが、読解力は低下しているということになってきているのではないのでしょうか。

ことばの教育を

この結果を見ても、国語の読解力、思考力、論理的な思考力を伸ばすことが大切です。それがやがて外国語の底力になります。外国語は、絶対に母語を超えることはできません。

まして、小学校の段階ですから、日本語をしっかりときたえてあげるこゝとが大事だと思います。

実は、そのことを文科省も気づいていて、新学習指導要領を見ると、小学校の国語では、「外国語活動及び外国語など他教科との関係を積極的に図り」と書いています。

外国語では、「日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く」と書いてあります。学習指導要領にそう書いているので、外国語や外国語活動の時間は、かなり国語の時間だと思つて指導すればいいと思います。

英語は少しだけ入れたらいいです。少し極端に言えば、英語の教科書を使いながら、8割は国語の時間にする、のもいいのではないかと思います。その方が絶対に子どものためになります。これが提案です。(つづく)

和歌山大学教育学部・英語教育 江利川 春雄



「戦争法」を廃止させよう。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。